

No.12  
2007年12月

株主のみなさまへ

第29期  
事業報告書

平成18年10月1日

平成19年9月30日

株式会社 **StEP** 株主通信

# “子ども達を元気にする塾”

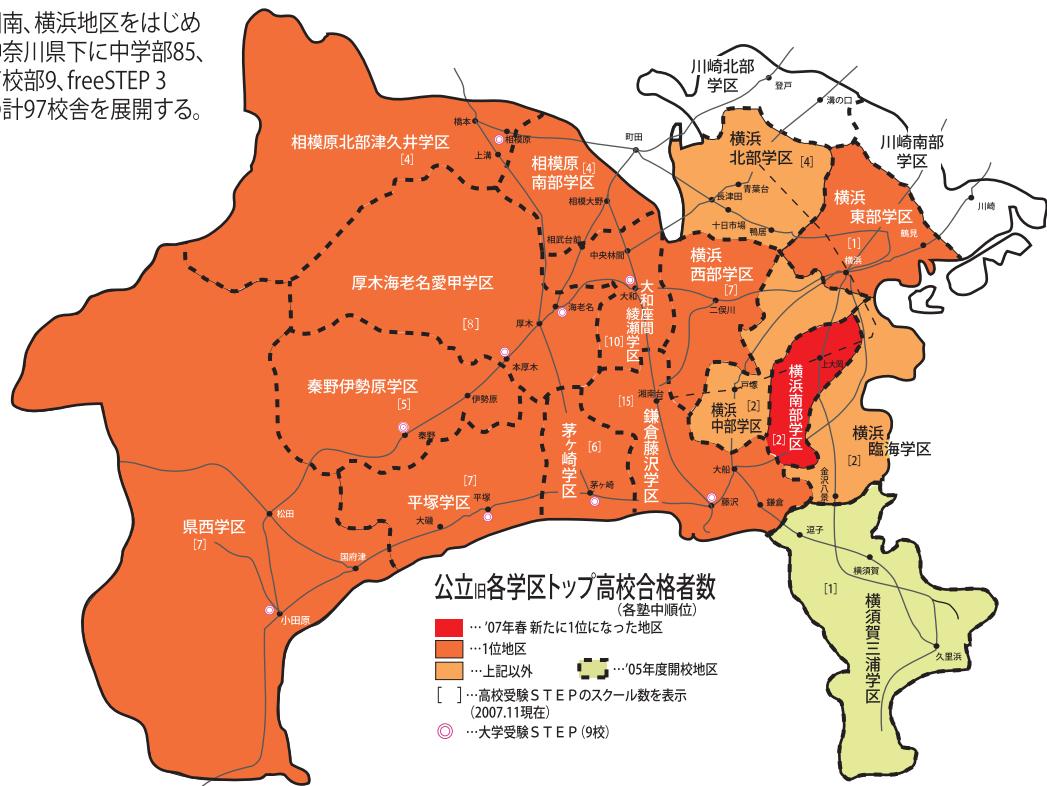


## CONTENTS/目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第30期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

# STEPスクール地図

湘南、横浜地区をはじめ  
神奈川県下に中学部85、  
高校部9、freeSTEP 3  
の計97校舎を展開する。



## 鎌倉・藤沢学区

長後スクール  
六会スクール  
善行スクール  
藤沢スクール  
藤沢朝日スクール  
藤沢中央スクール  
ライフタウンスクール  
ライフタウン北スクール  
辻堂東スクール  
平塚東スクール  
大船スクール  
湘南深沢スクール  
湘南スクール  
用田スクール  
横須賀・三浦学区  
逗子スクール

## 茅ヶ崎学区

辻堂西スクール  
茅ヶ崎スクール  
茅ヶ崎北スクール  
茅ヶ崎東スクール  
寒川スクール  
平塚学区  
立場スクール  
戸塚スクール  
茅ヶ崎西スクール  
港南台スクール  
平塚中央スクール  
平塚東スクール  
平塚南スクール  
二宮スクール  
大磯スクール

## 横浜各学区

瀬谷スクール  
三ツ境スクール  
二俣川スクール  
鶴ヶ峰スクール  
生台スクール  
立場スクール  
戸塚スクール  
港南台スクール  
杉田スクール  
金沢文庫スクール  
高座渋谷スクール  
綾瀬スクール  
大和スクール  
十日市場スクール  
鶴居スクール  
中川スクール

## 厚木学区・大和学区

鶴間スクール  
厚木スクール  
厚木西スクール  
厚木東スクール  
愛川スクール  
海老名スクール  
港南台スクール  
杉田スクール  
金沢文庫スクール  
高座渋谷スクール  
綾瀬スクール  
大和スクール  
十日市場スクール  
鶴居スクール  
中川スクール

## 相模原南部学区

測野辺スクール  
相模原スクール  
相模大野スクール  
橋本スクール  
相模原南スクール  
上溝スクール  
東林間スクール  
伊勢原スクール  
伊勢原スクール  
秦野スクール  
秦野スクール  
座間スクール  
相武台スクール  
南林間スクール

## 県西学区

鴨宮スクール  
小田原スクール  
富水スクール  
松田スクール  
鴨宮北スクール  
南足柄スクール

## H-i-STEP

H-i-STEP湘南スクール  
H-i-STEP鎌倉スクール  
H-i-STEP大和スクール  
H-i-STEP横浜スクール  
H-i-STEP海老名スクール  
H-i-STEP青葉台スクール  
H-i-STEP小田原スクール  
H-i-STEP秦野スクール  
H-i-STEP中央林間スクール  
H-i-STEP相模原スクール  
H-i-STEP戸塚スクール  
H-i-STEP横浜スクール  
freeSTEP  
freeSTEP藤沢  
freeSTEP平塚  
freeSTEP逗子  
freeSTEP長後

## ★ 中学部 ★

横浜翠嵐高校に続き柏陽高校でも合格者数トップに躍進  
独自入試実施6校で合格者数トップ  
神奈川県立 旧18学区のうち12学区でトップ校No.1

### 高校入試合格実績 さらに躍進

#### ★独自入試初年度の柏陽高校(横浜市)に71名合格

全塾中トップへ!

横浜翠嵐高校(横浜市)でも83名合格

2年連続全塾中トップ!

神奈川県の公立高校入試は、2005年度から学区撤廃や自校作成問題による独自入試がスタートし、入試実力勝負の色彩を濃くしています。今春(2007年度)入試では湘南高校、柏陽高校、横須賀高校が独自入試実施校に加わりました。そのうちの柏陽高校(横浜市南部に位置するトップ高校)にステップから71名が合格、独自入試実施初年度で早くも全塾中No.1に躍進しました。昨年度にNo.1となった横浜翠嵐高校には今春は83名が合格、2年連続でトップを継続しています。

#### 横浜翠嵐、柏陽への合格者数の推移



#### ★独自入試初年度の湘南高校に160名合格、定員の半数以上がステップからの合格者!

横浜翠嵐と並ぶ県立最高レベルの湘南高校には一貫して合格者数No.1を継続していますが、独自入試実施初年度の今春は定員(318名)の半数を超える160名の合格者を出しました。

今春は独自入試実施校の湘南高校、横浜翠嵐高校、柏陽高校、平塚江南高校、小田原高校、鎌倉高校の6校でいずれも合格者数全塾中トップを獲得、合格者数は湘南160名、横浜翠嵐83名、柏陽71名、平塚江南120名、小田原100名、鎌倉139名です。

来春2008年度入試では光陵高校、多摩高校が独自入試実施校に加わり、これにより独自入試実施校は全部で10校、神奈川の公立トップレベルの大半が独自入試実施校となり、さらに実力勝負型入試の色彩が強くなります。

#### ★旧学区トップ校合格者数1,212名 圧倒的トップ!

さらに今春の高校入試では、前述の独自入試実施校をはじめとして、公立高校旧18学区のうち12学区で塾別合格実績をNo.1とするとともに、ステップからの県内公立高校合格者のうち40%がトップ校に合格するなど、昨年に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。トップ校合格者総数は1,212名となり、これは全塾中、第1位の実績です(2位は600人台)。

#### ★厚木高校125名合格、希望ヶ丘高校93名合格で圧倒的トップ

湘南高校・横浜翠嵐高校と並ぶ神奈川県下の名門校、厚木高校にもステップから125名が合格し、他塾を圧倒してNo.1を継続。また横浜の名門・希望ヶ丘をはじめ茅ヶ崎北陵・相模原・相模大野・大和・秦野などの各高校でも各塾中トップを継続しています。



県立湘南高校合格発表風景  
合格したステップの生徒たち

#### ★難関私立・国立受験でHi-STEPも健闘

超難関の東京学芸大学附属高校に16名が合格し(定員86名中の約19%)、開成高校に8名が合格、さらに慶應系に21名が合格、さらに桐蔭学園高校には301名が合格しました。公立高校での躍進とともに、Hi-STEP各スクールを中心に最難関国私立でも健闘しています。



国立東京学芸大附属高校合格発表風景  
合格したステップの生徒たち

## 中学部 ハイステップ横浜スクールを開校 高校部 9校体制でシステム充実を進める 個別指導部門freeSTEP 独自校舎3校体制

### ★中学部 Hi-STEP横浜スクールを開校

2007年6月、中学部はHi-STEP横浜スクールを開校しました。Hi-STEP横浜スクールは横浜駅東口から徒歩3分のロケーションです。Hi-STEP横浜スクール開校で、Hi-STEPは14校の体制で国私立・公立難関校受験を応援します。国立学芸大附属高校への合格者数(外進生)全塾中トップを目指します。また生徒数の増加に対応して、さがみ野スクール、中川スクール、渕野辺スクールを移転し、茅ヶ崎東スクール、上溝スクールでは校舎スペースを拡張しました。



### ★高校部

#### 9校舎体制でシステムをさらに拡充

9校体制で現役合格を応援する高校部は、生徒数の増加に対応して、昨年度の平塚校移転、今年度の厚木校のスペース拡充などを進めつつ、システムの充実を図っております。高校部は今春、東大・東工大・一橋大などの国公立や私立難関大学などへの合格者数をさらに伸ばしています。

### ★個別指導部門 freeSTEP 独自校舎3校体制

高校部では従来の通常のクラスとともに、いわゆる個別指導部門(freeSTEP部門)を2002年秋から立ち上げ、現在独自校舎3校体制とし、マンツーマンのシステムを中心に体制強化を図り、現役高校生だけでなく中学生にも対応したシステムとしています。

#### ■生徒・保護者との連絡ツール等の拡充進む

生徒の入退室をご家庭にメールでお知らせする

#### ★STEPパスを中学部全スクールに設置

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせする「STEPパス」を中学部全スクールに設置しております。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。臨時メールを一斉にご家庭に送ることも可能です。

#### ★高校部 STEPパスシステムを活用し、 生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメールによる連絡網を設置し、より密なフォローアップ体制を構築しています。

#### ★授業映像の配信システム構築に着手

授業映像を社内ネットワーク、およびインターネットを使って塾生対象に配信するシステムの構築に着手しました。生徒が欠席した時など、自宅でその単元を学習できるようになります。

### ●ブルキナファソへ～「栄養失調児センター」への資金援助～●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、様々なボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一で、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓が一帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページへ <<http://www9.ocn.ne.jp/~eika/>>

# What's STEP

## 高校受験ステップ

### — 高校受験ステップ(中学部) —

#### 1. 専任教師制が主軸 充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高い技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、リスニング、会話などをネイティブのコーチのもと、レベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

#### 2. ハイタッチによる生徒指導

##### 1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子供の減少や競争に負けない最強の戦略と考え、スクールやクラスのマンモス化を避けつつ、神奈川県の各地に教室の展開を進めています。



## freeSTEP

### — 個別指導専門校 freeSTEP —

2002年秋に個別指導専門校「free STEP藤沢」を独自校舎として開校、2005年春に平塚と長後にも独自校舎を開校しました。また藤沢校・平塚校を除く高校部各校舎にも個別指導専門のfreeSTEPを設置しています。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なるニーズに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

## 大学受験ステップ

### — 大学受験ステップ(高校部) —

#### 生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。だから、高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

最難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生のニーズに応えています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的システムで現役合格をバックアップします。



大学受験ステップ小田原校

## 本部—各スクール校舎を繋ぐ

### —ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働— 教師1人にパソコン1台 ネットワーク完成

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが表示され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、約16,000人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手に届くというスピードです。

# STEP by STEP

## ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2007年度には6回の理科実験教室、理科実験合宿を開講しました。7月には親子理科実験教室も開催し、親子ともども理科の面白さに触れる試みを行っています。



## ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



## ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)

ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)とは、音楽が大好きな生徒、教師が一体となって盛り上がる音楽祭のこと。ロックバンドやギターの弾き語り、ピアノ演奏、プラスバンドのアンサンブルなど、演奏するジャンルは違っても「音楽が大好き」という気持ちは同じ。毎年、生徒と教師が一緒になって、熱気あるステージとなります。



## 高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするためにステップが総力をあげて開催する高校別入試ガイダンス。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底解析し、前期選抜、後期選抜、後期選抜第2次選考合格への合理的作戦などを紹介します。



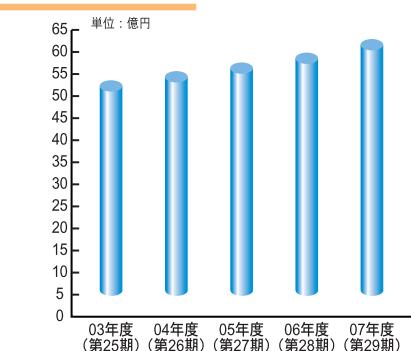
## 合同高校説明会

中3の生徒・保護者対象に、近隣の私立高校、および公立高校の先生に出席していただき、それぞれの高校の特徴・校風・カリキュラム・進学実績などをお話ししいただいています。

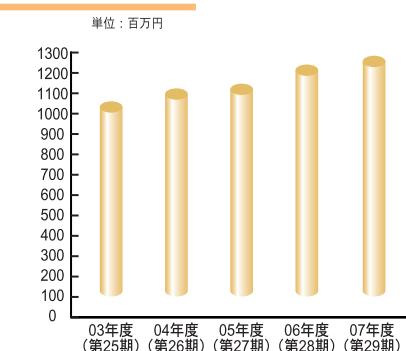


# 業績の推移

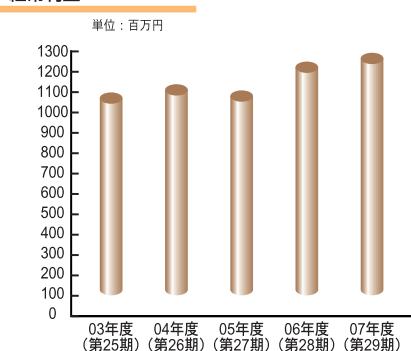
売上高



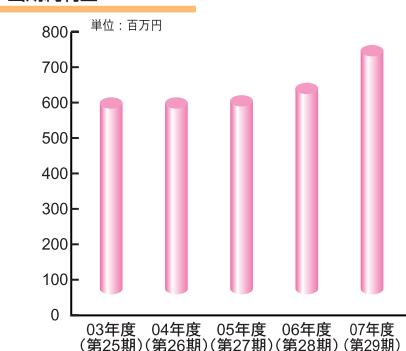
営業利益



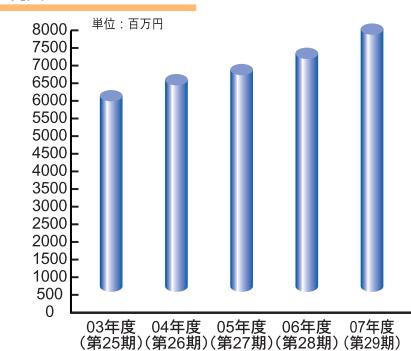
経常利益



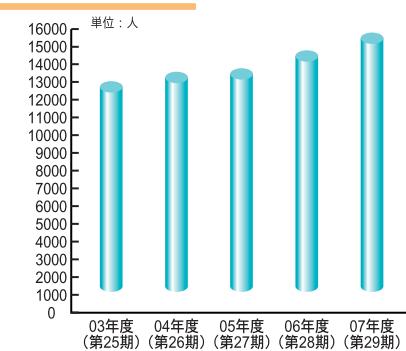
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

# 損益計算書の要旨

## 当期業績の概要

今春の高校入試におきましては、県内公立高校トップ高校への合格人数を1,212名として県内塾別合格実績No.1の座を堅持するとともに、当社生徒の県内公立高校合格者の40.2%がトップ高校に合格するなど、昨春に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。なかでもトップ高校の象徴である自校作成入試問題導入校での入試結果に抜群の強さを示し、他塾との差別化をさらに推し進めることができました。当社にとって巨大な潜在的マーケットと予想される横浜地区の伝統高校・人気高校での合格人数をさらに伸ばした実績は、当社の入試実力勝負における優位性を際立たせ、同地域に広く認知されるところとなってきており、当社のブランド力向上に大きなプラス効果をもたらしつつあると考えております。

しかしながら、当社の特徴であり強みは、このような合格実績ばかりでなく、当社のバックボーンとなっております「高い技量と豊富な知識を備えたプロ教師が、日々研鑽を怠らず、一人一人の生徒と真正面から向き合い、学習指導・進学相談に日々真摯に取り組んでいく」基本姿勢を地元地域の皆様にご支持いただくことにあると考えております。

したがいまして、決して現状に甘んじることなく、これまで以上に各教師が自己研鑽に励み、一つ一つの授業を大切にすることはもちろんのこと、来春以降も見直しが予想される県内公立各高校の入試システム・運営の実際(入試比率の調整・自校作成入試問題導入校の増加・問題の難化など)へのきめ細かな対応に加え、塾生通学圏内にあります難関国私立高校入試に積極的に向かう受験指導体制を強化いたしまりります。その一端といいたしまして6月・難関国私立高校・独自入試を実施している公立トップ高校の受験指導を中心とした目的とするHi-STEP横浜スクールをJR横浜駅前に開校いたしました。

現役高校生部門につきましては、学習塾としての強みを発揮して、教務・運営体制の見直し・改善による質的向上を図り、競争力強化に邁進いたしております。

結果、現状では小中学生部門が85スクール、現役高校生部門は9校、個別指導部門「free STEP」3校の計97校体制となっております。

生徒数に関しましては、小中学生部門、現役高校生部門ともに学年による違いは大きいものの、総体的には予想に沿ったレベルの安定的な推移を見せており、期中平均前年同期比約6.8%増となっております。

以上の結果、当事業年度の売上高は6,299百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は1,283百万円(前年同期比3.8%増)、経常利益は1,292百万円(前年同期比5.6%増)、当期純利益は765百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

なお、当社は経済産業省が後援し、社団法人全国学習塾協会が認定しております学習塾のサービス格付けにおきまして、全国トップレベルの評価で最高ランク(AAA)の格付けを取得しております。また、経済産業省の外郭団体であります財團法人日本情報処理開発協会と社団法人全国学習塾協会が認定するプライバシーマーク使用許諾も得ており、改正特定商取引法をはじめとする消費者保護関連法規に全面的に賛同し、その趣旨の実現に積極的に取り組んでおります。

当社は今後も全社的にコンプライアンス(法令遵守)体制の強化をはかってまいります。

なお、社会貢献活動におきましては、アフリカのブルキナファソの「栄養失調児センター」に対する資金援助を行っております。

## 損益計算書(単位：百万円)

\* 百万円未満切捨

科 目	前 期	当 期	増 減
売上高	5,978	6,299	321
売上原価	4,193	4,448	254
売上総利益	1,784	1,851	66
販売費及び一般管理費	547	567	20
営業利益	1,237	1,283	46
営業外収益	69	76	6
受取利息	2	3	0
受取賃貸料	57	56	△0
その他	10	16	6
営業外費用	83	67	△15
支払利息	12	9	△2
賃貸費用	70	53	△16
その他	0	3	3
経常利益	1,223	1,292	68
特別利益	—	51	51
固定資産売却益	—	38	38
投資有価証券売却益	—	13	13
特別損失	90	23	△67
固定資産除却損	37	20	△16
減損損失	48	—	△48
その他	4	2	△1
税引前当期純利益	1,133	1,321	187
法人税・住民税及び事業税	505	531	26
法人税等調整額	△33	23	57
当期純利益	662	765	103

## 部門別売上高

事業部門別の売上高は、次のとおりであります。

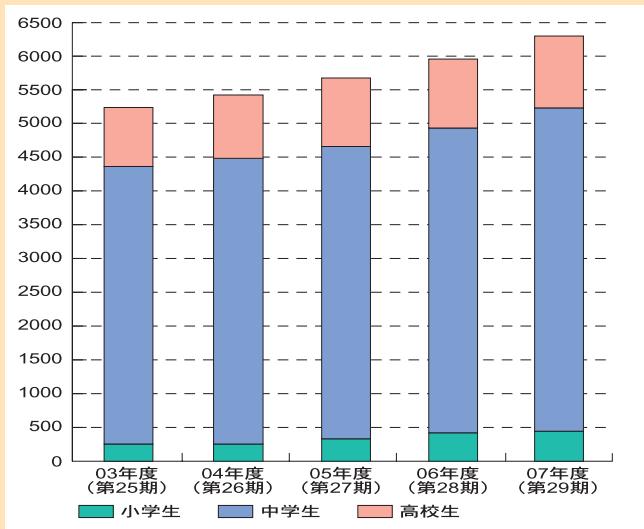
### 小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で7.8%の増加等により、5,236百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

### 現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数が期中平均で1.0%の増加等により、1,063百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

単位：百万円



## 部門別売上高明細表

(単位：千円)

区分	前期		当期		比較増減	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)		
小中学生部門	小学生	410,211	6.9	443,342	7.0	33,130
	中学生	4,506,747	75.4	4,793,289	76.1	286,541
	小計	4,916,959	82.3	5,236,631	83.1	319,672
現役高校生部門	1,061,066	17.7	1,063,060	16.9	1,994	
合計	5,978,025	100.0	6,299,692	100.0	321,666	

# 貸借対照表の要旨

貸借対照表 (単位: 百万円)

\* 百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>1,219</b>	<b>1,611</b>	<b>392</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,062</b>	<b>1,080</b>	<b>17</b>
現金及び預金	874	1,254	380	一年内返済予定長期借入金	413	344	△69
有価証券	126	151	24	未払金	48	72	24
前払費用	80	84	3	未払法人税等	289	293	3
その他	137	120	△16	その他	310	370	59
貸倒引当金	△0	△0	△0		<b>968</b>	<b>687</b>	<b>△281</b>
<b>固定資産</b>	<b>8,312</b>	<b>8,204</b>	<b>△107</b>	長期借入金	724	451	△272
有形固定資産	7,562	7,541	△20	その他	244	235	△9
建物・構築物	2,964	2,878	△86	<b>負債合計</b>	<b>2,031</b>	<b>1,767</b>	<b>△264</b>
土地	4,484	4,417	△66	<b>純資産の部</b>			
その他	112	246	133	<b>株主資本</b>	<b>7,494</b>	<b>8,051</b>	<b>557</b>
無形固定資産	52	46	△6	資本金	1,329	1,329	—
投資その他の資産	697	616	△81	資本剰余金	1,402	1,402	—
投資有価証券	81	24	△57	資本準備金	1,402	1,402	—
差入保証金	429	434	4	利益剰余金	4,851	5,408	557
その他	186	157	△28	利益準備金	137	137	—
<b>資産合計</b>	<b>9,531</b>	<b>9,816</b>	<b>284</b>	その他利益剰余金	4,714	5,271	557
				別途積立金	97	97	—
				繙越利益剰余金	4,616	5,173	557
				自己株式	△87	△87	—
				<b>評価・換算差額等</b>	<b>5</b>	<b>△3</b>	<b>△8</b>
				その他有価証券評価差額金	5	△3	△8
				<b>純資産合計</b>	<b>7,499</b>	<b>8,048</b>	<b>548</b>
				<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,531</b>	<b>9,816</b>	<b>284</b>

# 株主資本等変動計算書の要旨

## 株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

\* 百万円未満切捨

資本金	株主資本								自己株式	株主資本合計		
	資本剰余金		利益剰余金				別途積立金	繰越利益剰余金				
	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金								
平成18年9月30日 残高	1,329	1,402	1,402	137	97	4,616	4,851	△87	7,494			
事業年度中の変動額												
剰余金の配当 <sup>(注)</sup>						△208	△208			△208		
当期純利益						765	765			765		
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)												
事業年度中の変動額 合計	—	—	—	—	—	557	557	—	557			
平成19年9月30日 残高	1,329	1,402	1,402	137	97	5,173	5,408	△87	8,051			

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成18年9月30日 残高	5	5	7,499
事業年度中の変動額			
剰余金の配当 <sup>(注)</sup>			△208
当期純利益			765
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	△8	△8	△8
事業年度中の変動額 合計	△8	△8	548
平成19年9月30日 残高	△3	△3	8,048

# 株式の状況

## 株価推移 (週足)

資料: ジャスダック証券取引所



## 株式の状況 (平成19年9月30日現在)

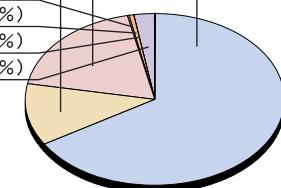
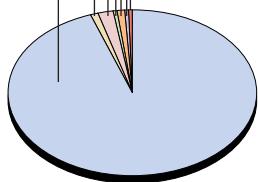
発行済株式の総数 15,320,000株

株主数 1,208名

### 所有者別株式分布

単位: 千株

個人・その他	1,157名 (95.79%)	個人・その他	10,153 (66.27%)
金融機関	11名 (0.91%)	金融機関	1,788 (11.67%)
国内法人	26名 (2.15%)	国内法人	2,857 (18.65%)
外国人	1名 (0.08%)	外国人	32 (0.21%)
証券会社	11名 (0.91%)	証券会社	88 (0.58%)
保管振替機構名義株式	1名 (0.08%)	保管振替機構名義株式	1 (0.01%)
自己名義株式	1名 (0.08%)	自己名義株式	400 (2.61%)



# 第30期 業績予想

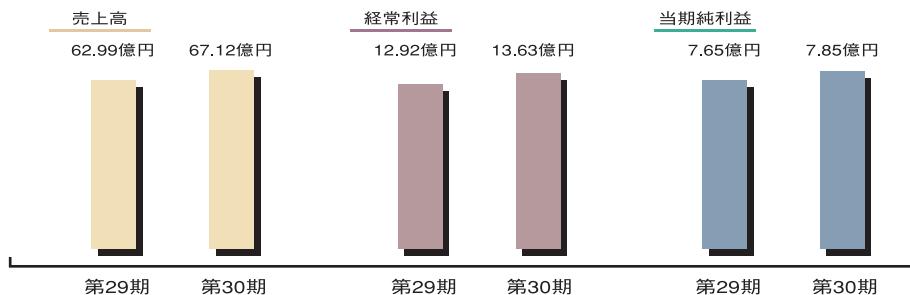
## 来期の見通し

長期的に少子化ないし少子社会にある学習塾業界は、全体としては厳しい環境下にあると言わざるを得ませんが、当社にとりましては開拓すべきニーズ、深耕すべきマーケットは確実に存在すると考えております。当事業年度の募集状況を振り返りますと、結果的には危なげない推移となっておりますが、現状に甘んずることなく今後とも業容の拡充に工夫をこらす所存です。

来期につきましては、県立高校における独自入試採用校の増加、選抜基準・入試比率の継続的見直し、学区撤廃の浸透等の影響、さらにそれが入試選抜における県内私立高校の公立高校に対する競争力に一石を投じかねない状況を含めた入試事情全般にもたらす変化の波をうまく捉え、他塾を凌駕する当社の教務力を十分に発揮して、より一層の合格実績の伸張、ブランド力の向上を図りたいと考えております。そのため、授業内容のさらなる高品質化とそのための人材育成を生命線として強力に推進する一方、教務上の優位性を有效地に活かしながら営業基盤の地域的強化をめざしてまいります。

着実な成長を続ける現役高校生部門ですが、今後ともこの勢いを維持するとともに、小中学生部門同様の授業内容の高品質化とそのための人材育成をより一層組織的・継続的に推し進めるため、資金と人材を合理的に投入して教務力向上に邁進し、競争力の強化に努めます。

本期の業績につきましては、売上高6,712百万円(前年同期比6.5%増)、経常利益1,363百万円(前年同期比5.5%増)、当期純利益785百万円(前年同期比2.5%増)を見込んでおります。



業績予想数値は、平成19年11月7日にジャスダック証券取引所へ提出した決算短信に記載したものです。

## 当社の経営の基本方針

学習塾を広義での「生徒サポート産業」と考え、「子供たちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業展開をモットーとしております当社は、生徒たちの健全な成長を学力面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することを設立以来の基本理念といたしてまいりました。

これを実現するために、以下の5項目を経営の基本方針としております。

- (1) 学習塾専業への経営資源の集中投下
- (2) 地元神奈川県内へのスクールの集中展開
- (3) 基本となる学習サービス内容の高品質化と競争力強化
- (4) 県内公立トップ高校への進学実績No.1及び難関国私立高校への合格実績を一層向上させる  
高校受験S T E Pの質的向上
- (5) 地元現役高校生を対象とした大学受験S T E Pの拡大発展

当社はもともと公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきた強みとその公立高校の変革、入試改革による魅力向上を追い風として積極的に生かし、さらに難関国私立高校への合格実績とあいまって、ブランド化戦略の深化を図っております。

現役高校生部門は、学習塾の市場の中ではまだ充分に開拓されているとは言い難く、今後の伸長が見込まれ得る分野と認識いたしており、今後も重要なセクターと位置づけております。

当面は、県内公立高校旧学区割りを目処に中規模程度の校舎を開設し、現役高校生対象の予備校ネットワークの構築を計画的に進めてまいります。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として発展を図ってまいりたいと考えております。

# 会社の概要

商 号 株式会社ステップ

証券コード 9795

本 部 〒252-0804 藤沢市湘南台2-1-19

TEL 0466-45-5500 (代)

事 業 内 容 ■高校受験S T E P

小5から中3までの学習・受験指導

■大学受験S T E P

高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導

ス ク ル 神奈川県内

藤沢市、横浜市、鎌倉市、茅ヶ崎市、平塚市、  
大和市、厚木市、海老名市、座間市、相模原市、  
伊勢原市、秦野市、小田原市、南足柄市、逗子市  
寒川町、松田町、二宮町、大磯町、愛川町に97校舎  
(平成19年10月現在)

教材研究部 藤沢市南藤沢22-1

印刷配送センター 藤沢市大庭5681-25-2

## COMPANY DATA

創 業 昭和50年1月

設 立 昭和54年9月

資 本 金 13億2905万円

代表取締役社長

龍井郷二

社 員 数 635名 (正社員437名、その他198名)

営業地域 神奈川県内

## 株主メモ

決 算 期 9月30日

定 時 株 主 総 会 12月

利 益 配 当 金 9月30日

支 払 株 主 確 定 日

1 単 元 の 株 式 数 1,000株

公告の方法

当社ホームページに掲載します。

<http://www.stepv.co.jp>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、  
日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社 本店

同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

証券代行事務センター (〒168-0063)

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル

0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)

●ホ ー ム ペ ー ジ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

株式会社 **StEP** 株主通信